

2025年度

ニチキッズ松本おかだ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月6日（火）～2月6日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念を職員全員が共有し、一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して自分らしさを素直に表現しながら楽しい生活が過ごせるよう、指導計画に基づき、保育を実践した。
子どもの発達援助	心身ともに健やかな発達を促せるよう、家庭とも連携し援助してきた。また、職員会議で一人ひとりの発達や成長を共有しあい、全職員が同じ方向性で対応できるよう心がけた。今後も発達の特性や、個々の性格、育ちに沿いながら、安心できる環境の下、適切な援助をしていく。
保護者に対する支援	朝夕の送迎時や連絡帳等により、園での様子を伝えたり、保護者の思いを聞くなど、子育ての支援を行った。また、一人ひとりの保護者と丁寧にに関わり、信頼関係を築いていくことができるよう努めた。
保育を支える組織的基盤	外部研修の参加や、園内研修を行い、その中で得た知識や学びを全職員で共有し、保育の中で活かすよう努力した。日々、業務の振り返りミーティングを行いながら、子どもの様子や育ち、成長を理解するようになった。これからも様々な視点からの知識や、スキルアップを習得し、保育の質の向上に努めたい。 シフト制勤務の為、全職員での十分な時間の確保が課題である。

総評
「子どもが主体の保育」「ひとりひとりを大切にしたい保育」の意識を常に持ちながら、子どもにとっても大人にとっても楽しく心地よい雰囲気のある園となるよう心がけた。また、小規模保育園の特徴を活かし、一人ひとりの子どもと丁寧に向き合いかわることに努めた。開園5年目となり、子ども達の継続した集団生活での成長や、食育活動の充実、職種を超えた職員同士の連携等、手ごたえを感じている。また、今年度社長賞を受賞したことは職員の励みになり、モチベーションアップにもつながった。職員全員が同じ思いの中、あたたかい保育を行っていくことや、保育者自身がスキルアップに励み、主体的に行動していくこと、また全職員が思いやりの姿勢で協力をしあいながら、今後も質の高い保育をめざしていきたい。